

# CSS とスタイルの使用

## CSS のクラスをコンポーネントに適用するにはどうすれば？

このようにクラス名を文字列として `className` プロパティに与えてください。

```
render() {  
  return <span className="menu navigation-menu">Menu</span>  
}
```

このようにコンポーネントの `props` や `state` の状態を元に CSS クラスを割り当てる方法もよく使用されています。

```
render() {  
  let className = 'menu';  
  if (this.props.isActive) {  
    className += ' menu-active';  
  }  
  return <span className={className}>Menu</span>  
}
```

### ヒント

もしあなたが上記のようなコードを書くことが多い場合、`classnames` という npm パッケージを使うことで簡略化できます。

## インラインスタイルは使えますか？

はい、スタイルの書き方については[この資料](#)をご覧ください。

## インラインスタイルは悪なの？

パフォーマンス観点から言えば、基本的に CSS クラスを使う方が、インラインスタイルを用いるよりも優れています。

## CSS-in-JS とは？

“CSS-in-JS” とは外部ファイルでスタイルを定義するのとは違い、JavaScript を用いて CSS を生成するパターンのことを指します。数々の CSS-in-JS ライブラリの比較については[この資料](#)をご覧ください。

**注意：この機能は React の一部ではありません。サードパーティのライブラリ群により提供される機能です。** React はスタイルがどのように定義されているかには関心を持ちません。判断に困った場合は、まずは別の `*.css` にスタイルを定義して、`className` を使って参照するところからはじめると良いでしょう。

## React でアニメーションは使えますか？

React を使ってアニメーションを動かすことは可能です。例として、[React Transition Group](#) や [React Motion](#) をご覧ください。

[このページを編集する](#)